企業・団体名（　トピーファスナー工業株式会社　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	労働組合員とならない非正規社員においても、経営と労働組合が一緒になり、雇用、教育、昇進、福利厚生など雇用条件で差別しないことを確認、推進しており、また定期的な教育研修や相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント禁止を就業規則に明記している。また、全従業員に対し、外部専門者による社内研修に参加してもらい、あらゆるハラスメント防止に向けている。なお、相談窓口設置を周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎月の労働時間ならびに年次有給休暇の取得実績を、個々人別に集計し、所属長ならびに労働組合が、月々の変化を確認し、情報を共有している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	あらゆる差別に対して、人権研修の内容に織り込み、定期的な社内研修を実施している。また非正規社員であっても、会社相談窓口もあるが、労働組合活動の一環として、声を掛けていただきながら、日々の困りごと相談を実施している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	職制による安全衛生活動に加え、労使の安全衛生委員会委員が、毎月安全衛生パトロールを実施し、自職場以外の安全衛生状態や安全行動に対して確認、指摘する相互安全衛生活動を行なっている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ハラスメント研修に合わせて、全従業員に対し、外部専門者による社内研修に参加してもらい、あらゆるハラスメント防止に向けている。なお、相談窓口設置や外部カウンセラーとの契約など周知している。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性従業員や外国人労働者が多い職場であり、また60歳定年後、殆どが雇用継続して頂いている雇用体制を継続している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	非正規社員、正規社員を問わず、時間内に様々な基礎教育を実施し、受講できる体制を構築している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	法の主旨に沿って、労使で実態に沿った対応をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	喫煙率の調査、喫煙場所の限定など実施している。また定期健康診断結果において、二次健診の指導を受けた従業員に対し、二次健診受診を確認することで、受診機会を逃さないよう職場で相互に健康管理をしている。また、企業内健康保険組合が主導し「健康アプリ」の導入を全従業員に促している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物の適正な処理は勿論のこと、種類の分別、廃棄時の量の確認など、ルールを決めて記録している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	環境ISO14001の活動として、電気、ガスのエネルギー使用量を毎月記録し、前年同月比での変化を検証し、対策を講じる活動を継続している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	算出ツールを利用して、温室効果ガス排出量を把握しており、削減のための活動を実施している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令に基づく適切な管理と運用を実施しており、さらに定期的に確認をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	生産活動による排水を、適法処理の上で、河川へ放水しているが、法令以上に点検回数をもって慎重に管理している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	社内に若手主体のSDGs推進委員会を立ち上げ、3Rの考え方をもって、1つずつ活動を推進している。また、各々の職場の職場改善活動の一環として、3Rを意識した活動を始めている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	一部地下水を利用することで、上水利用を抑制している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2016年にISO14001を取得しており、その主旨を理解し行動を継続している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	自社ホームページに「環境方針」ならびに「事業活動温暖化対策計画実施状況等報告書」「事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書」を掲載し、環境への活動を開示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	現在、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電の設置の有無を検討している。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	地下水を利用することで、上水とバランスを取りながら水資源を利用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内で「コンプライアンスガイドブック」を用いて、入社時から周知している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社内で「コンプライアンスガイドブック」や「知的リスク管理規程」を用いて、入社時から周知している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	社内で「コンプライアンスガイドブック」や「営業秘密管理規程」「知的リスク管理規程」を用いて、入社時から周知している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社内における「就業規則」「情報セキュリティポリシー」「コンプライアンスガイドブック」を用いて、入社時から周知しており、親会社の内部監査部による定期的な監査も受けている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	取引先との協定や覚書を締結しつつ、取引きないこと、さらには、無いような活動を実施している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との協定や覚書を締結しつつ、取引きないこと、さらには、無いような活動を実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	IATF16949を取得しており、製造、品質、お客様への安心を得る活動を構築している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	IATF16950を取得しており、製造、品質、お客様への安心を得る活動を構築している									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	EV、EHVなど環境配慮型自動車向け部品の製造、販売を高める活動を実施している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	カーボンニュートラルへの取組計画を策定し、廃棄物の削減、エネルギー消費の削減、再生可能エネルギーの導入、グリーン調達など、計画的に実行している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元商工会議所を通じ、松本工業高校1年生の社会科見学会を毎年実施している。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	自動販売機購入時に購入金額から一部「長野県立こども病院」への寄付を継続している。また、会社周辺の公道の草取り、ゴミ広いを定期的に実施している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元人材の採用を積極的に実施している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	「基本理念」「行動規範」「経営ビジョン」を定め、社内掲示によってより従業員に理解もらえるよう努めている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	上場会社である親会社の内部統制の一環として、親会社の内部監査部による監査を定期的に実施しており、また「下請法」をはじめコンプライアンス研修を定期的に実施している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	SDGs推進委員会、カーボンニュートラル分科会を立上げ、社会や環境に及ぼす影響を明確にし、その対応を社内で推進している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	当社ホームページを活用し、当社のサスティナビリティ活動を発信している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメント組織を持ち、BCP策定や緊急時対策本部、コロナ感染拡大の対応など、緊急時の対応を含めたリスクマネジメント活動を推進している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	社内SDGs推進委員会が、SDGsの達成に向けた取り組みについて、ホームページに掲載し、社内外にその方針を明確にしている。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	総務部の下部に属する総務･リスクマネジメントグループにおいて、「リスクマネジメント規程」を主管し、主目的の1つにBCPの策定と運用を掲げている。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	総務部の下部に属する総務･リスクマネジメントグループにおいて、「リスクマネジメント規程」を主管し、主目的の2つにBCPの策定と運用を掲げている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
「SDGs」の認知度や具体的な取り組みが浸透していないとの従業員の意見を踏まえ、若手従業員によるSDGs推進委員会によって定期的な社内報を発行し「17の目標」の背景などをはじめ啓蒙を図っている。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
また、このSDGs推進委員会が主導し、このメンバーによるSDGs勉強会（約20名の従業員に対し2回(1.5時間×2回)の社内勉強会を開催。約400名弱の全従業員が参加できるよう毎月勉強会を開催している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2021年度から2022年度にかけて、ハラスメントならびにメンタルヘルスの社内研修として、外部専門者による社内研修(1.5時間)を1回あたり約20名で隔月実施し、全従業員が受講した。以降、新規入社者においては、外部専門者の研修を録画し放映による研修を継続している。				3		5			8		10						16	
SDGs推進委員会が主導し、ペットボトル廃棄の際にラベル剥がし運動を実施中。社内に７台ある自動販売機横のペットボトルゴミ箱とラベルゴミ箱を設置し促すとともに、定期的に分別の割合を確認している。また、ペットボトルキャップゴミ箱も設置し分別したペットボトルキャップを松本市内の団体に預け、「世界のこどもたちにワクチン」のために活用していただいている。				3									12					

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）